

コンピュータ導入コンサルティングシステム
(4) コンピュータ事例検索システム

1 S - 9

川島 真人 対馬 浩治 嵐 保彦
協同システム開発株式会社 日本電子計算株式会社

1. はじめに

平成元年度から3年間にわたり、協同システム開発株式会社と日本電子計算株式会社と共同で、通商産業省、情報処理振興事業協会 (IPA) より委託された「中小企業情報化指導支援CAIシステム研究開発計画」の内の「コンピュータ事例検索システム」を開発している。

コンピュータの小型化、高性能化、低価格化が進み、中小企業も多様な用途、ニーズに合ったコンピュータを比較的安価に選定できるようになってきた。しかし、中小企業の情報化の実態を見てみると、導入の方法がわからない、どういう手順で情報化を進めていけばよいかわからない等の理由で情報化を諦めている場合が数多く見られる。

そこで、本計画では、情報化指導の教育、診断をサポートし、情報化指導員の作業を軽減することを目的としている。

本システムは過去の指導例を整理し、情報化相談・

指導で使用する導入事例を検索・表示できるようにすることにより、過去の指導例を有効に活用し、情報化指導の支援を行うことを目的としている。

2. システムの概要

2.1 システムの利用者

本システムは、中小企業地域情報センター等の指導機関における情報化指導員、中小企業の経営者及び情報化担当者を主な利用対象者としている。

2.2 画面展開方法

本システムは、ハイパーテキストを利用して構築しており、あらかじめ設定してあるリンクをたどることにより、データベース内を自由に移動しながら検索することができる。

画面展開方法のイメージを図2-1に示す。

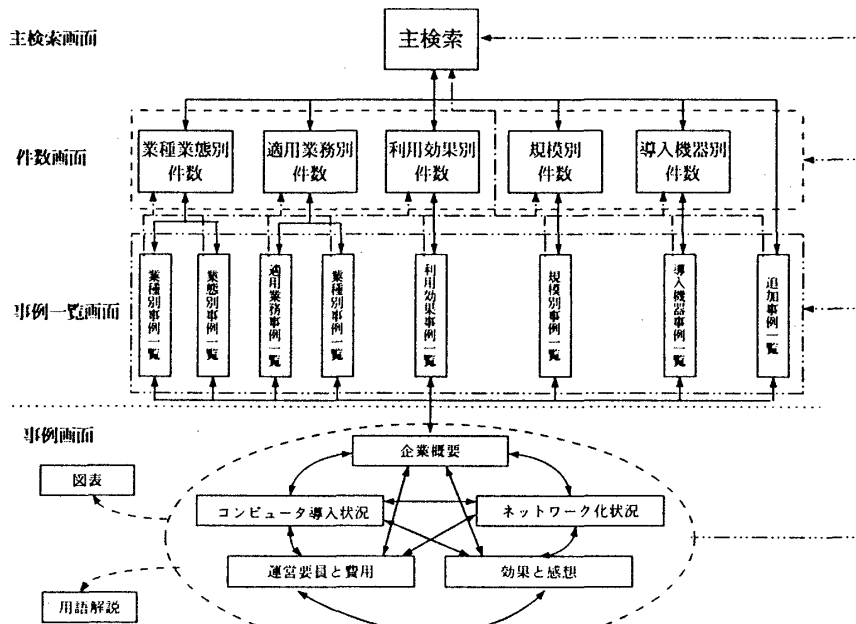


図2-1 画面展開方法

3. システムの特徴

3.1 マウスを主体とした簡易な操作

利用者は、検索キーを指定するための面倒な入力操作は必要なく、画面に表示された情報の中から「見たい、知りたい」と思うものをマウスでクリックするだけで、情報を入手することができる。

また、独自の事例を追加する時も、マウスによる指示で簡単に追加することができる。

3.2 対応付け作業の簡略化

ハイパーテキストツールに用意されているスクリプト言語を利用して、テキスト内にある文字列と他のテキストファイルや図表ファイルとのリンクを自動的に作成することができる。

この結果、従来労力を要していた、ハイパーテキストのリンク付け作業は、実行を指示するだけですべて自動的に行えるようになり、作業を大幅に省力化することができる。

4. システムの機能

4.1 データ作成管理

マウスによる指示により事例データ入力する。また、入力したデータから、事例検索時に画面出力される画面データファイルを作成する。

4.2 データベース検索

利用者のマウス指示により、データベース内を自由に移動しながら目的とする事例データを検索し、画面に表示する。

4.3 データベース利用モニタ

利用者が事例データ検索中に、利用状況データを自動収集し、データを加工して利用状況資料を出力する。

4.4 コンサルティングシステムインタフェース

本計画のサブシステムの1つである「コンピュータ導入診断システム」が、事例診断を行う際に必要となるファイルを作成する。

5. システムの利用効果

5.1 モデル・システムの提案をサポート

文字だけでは伝えきれない機器構成等の情報については、概念図を表示する。また、コンピュータ用語も画面上でその用語をマウスで選択すると、ウィンドウが開かれ、用語の意味を参照できるようにした。これらのことにより、モデル・システムの提案を助け、さらに情報化の知識を深めることができる。

5.2 過去の情報を管理

日常の情報化指導活動の中で収集した、様々な情報を相互に関連付け、整理し、管理・検索することができる。

6. システム構成

本システムの動作環境を次に示す。

6.1 適用機種

- ①PC-9801 シリーズ (VX以降、ハイレゾ、LTを除く)
- ②FMR-50シリーズ

6.2 オペレーティング・システム

- ①PC-9801 シリーズ^{*1}
 - ・日本語MS-DOS Ver3.3 以降
- ②FMR-50シリーズ
 - ・日本語MS-DOS Ver3.1 以降

6.3 ウィンドウ・システム

- ①PC-9801 シリーズ^{*1}
 - ・日本語MS-WINDOWS Ver3.0 以降
- ②FMR-50シリーズ^{*1}
 - ・日本語Microsoft Windows V3.0 以降

6.4 開発ツール

- ・ハイパーテキストツール「日本語Guide3」^{*2}

7. おわりに

本システムは、ハイパーテキストを用いて構築することで、初心者にも扱いやすい検索システムを開発することができた。今後、ビデオや音声等のマルチメディア化にも対応しながら、初心者に使いやすいシステム開発に取り組んでいきたい。

8. 謝辞

本システムの開発にあたり、通商産業省、情報処理振興事業協会、各地域情報センターの方をはじめ関係者の方々に、数多くのご指導を賜わった。心より感謝する次第である。

<参考文献>

- ①「中小企業情報化指導支援 C A I システム研究開発について」
平成元年3月 協同システム開発(株)
- ②「中小企業の情報化ビジョン」
昭和60年10月 中小企業庁編集

*1 MS-DOS、MS-WINDOWS、Microsoft Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

*2 日本語Guideは、(株)エム・ビー・テクノロジーの商標です。Guideは、米国OWL International社の登録商標です。